

教科目名 英語 (English)

学 科 名 ・ 学 年 : 全学科 2 年

単 位 数 な ど : 必修 4 単位 (前期 2 コマ, 後期 2 コマ, 学習保証時間 90 時間)

担 当 教 員 : 篠田 和男 (2 年全学科) 穴井 孝義 (2M, 2S) 大木 正明 (2E, 2C)

授業の概要			
1 年次までに習得した基礎英語力を総合的に発展させる。具体的には、まず 1 年次で扱っていない文法事項を習得したのち、「構文」という観点から英文法を再確認し、英文法及び英語構文の定着を図る。また、英文読解力を高めるために、英文内容が直読直解できるような演習をおこなう。さらに、英語独特の表現や理工系の基本英単語の習得にも力を入れる。			
達成目標と評価方法			大分高専目標(C2)
(1) 英語の重要構文や慣用表現を習得し、読解力や表現力を養成することができるようになる。(定期試験)			
(2) 英語の対話やモノローグを聞いて大意が把握でき、要点を押さえることができるようになる。(定期試験)			
(3) 英語の思考の流れを理解し、直読直解ができるようになる。(定期試験)			
(4) 基本的な理工系英単語を習得し、自在に使いこなせるようになる。(定期試験)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1, 2	授業オリエンテーション 助動詞の発展的内容	授業の流れや予習方法の解説と諸注意 助動詞 + 完了形 次週より Listening・dictation 演習	【理解の度合い】
3, 4	L. 1, Ch. 17・読解演習(以下毎週)	分詞, 英語思考に慣れる為の読解演習	
5, 6	L. 2, Ch. 18,	分詞, 同上	
7, 8	L. 3, 準動詞の発展的内容	to 不定詞と動名詞, 同上	
9, 10	L. 4, 準動詞の発展的内容	to 不定詞と動名詞, 同上	
11, 12	L. 5, Ch. 21	関係詞, 同上	
13, 14	これまでの復習		
15, 16	前期中間試験 前期中間試験の解答と解説	Lesson 6 を含む	【試験の点数】 点 【理解の度合い】
17, 18	L. 7, Ch. 22	比較, 英語思考に慣れる為の読解演習	
19, 20	L. 8, 比較の発展的内容	比較, 同上	
21, 22	L. 9, Ch. 23	仮定法, 同上	
23, 24	L. 10, Ch. 24	仮定法, 同上	
25, 26	L. 11, 時制の一致と話法	直接話法と間接話法の識別, 同上	
27, 28	これまでの復習		
29, 30	前期期末試験 前期期末試験の解答と解説	Lesson 12 を含む	【試験の点数】 点
31, 32	構文 1・読解演習(以下毎週)	It 構文, 英語思考に慣れる為の読解演習	【理解の度合い】
33, 34	L. 13, 構文 2	不定詞構文, 同上	
35, 36	L. 14, 構文 2	同上	
37, 38	L. 15, 構文 3	分詞構文, 日英語の相違を扱った読解演習	
39, 40	L. 16, 構文 3	同上	
41, 42	L. 17, 構文 4	動名詞構文, 同上	
43, 44	これまでの復習		
45, 46	後期中間試験 後期中間試験の解答と解説	Lesson 18 を含む	【試験の点数】 点 【理解の度合い】
47, 48	L. 19, 構文 4	動名詞構文, 直読直解の為の読解演習	
49, 50	L. 20, 構文 5	関係詞構文, 同上	
51, 52	L. 21, 構文 5	同上	
53, 54	L. 22, 構文 5	同上	
55, 56	L. 23, 構文 5	同上	
57, 58	これまでの復習		
59, 60	後期期末試験 後期期末試験の解答と解説	Lesson 24 を含む	【試験の点数】 点
履 修 上 の 注 意		(1) 日頃から英語の音声や文章に接して、英語的センスを養うこと。 (2) 英文読解は、大意を把握してから辞書を引くこと。また、語の原義をしっかりと理解しておくこと。 (3) 英単語は常日頃から勉強して定着を図ること。	【総合達成度】
教 科 書		富田良一・南條敦史編著, 「クリア! 英文法 24」エスト出版・Chart Institute 編, 「改訂版基礎を固める英語構文ノート」数研出版・染矢正一 他著, 「Listening for Homestay」成美堂・亀山太一 監修, 「COCET3300」成美堂・BBC Learning English (プリント配布物)。	【総合評価】 点
参 考 図 書		「カラーワイド英語百科」大修館。	
関 連 科 目		英語, 英会話, 英語 L L。	
総 合 評 価		達成目標の(1)~(4)について 4 回の定期試験の平均で総合評価する。 総合評価 60 点以上を合格とする。	